

※ 今週のアウトルック (1/28~2/1)

先週は、各通貨ペアとも様子見的な狭いレンジでの動きとなりました。

唯一、ポンドがレジスタンスラインを突破して上昇トレンド入りしています。

今週も、週末に米国雇用統計を控え、それまでは様子見的な動きとなる可能性が高いように思います、発表後は予想が意外と低いものとなっていることから、良い結果の場合にはドル買いが大きく進む可能性はありそうです。

先週のドル円は、109円から110円までの狭いレンジでの動きに終始しました。

今週は、週末に予定されている米国雇用統計の結果次第という事になりそうですが、悪い結果が出た場合にはさほどサプライズはなく、良い結果の場合には大きく買い戻しが入る可能性はあるように思います。

ドル円の予想レンジは108円から112円です。

ユーロ円は先週、124円から125円あたりまでの狭いレンジ内での動きとなりました。

今週もどちらへも大きく動きづらい状況は継続しそうですが、ドル買いが進んでリスクオンムードが再燃した場合には、126円を超えての上昇もあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは122円から128円です。

ポンドは、EUから英国の合意なき離脱に焦点が集まっています。

今後の状況に関する見方や各国への影響は意見が分かれるところだと思いますが、レジスタンスラインを突破し、売られ過ぎからの買い戻しが進んでいるようです。今週も状況次第では150円付近までの上昇はあるやもしれません。

ポンド円の予想レンジは142円から149円です。

週末の米国雇用統計待ちの様子が強いですが、その後、大きく動く可能性が高まっています。思いのほか良い数字の場合には、一気に買い戻しが入る可能性を考慮する必要はありそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

